

## 参 考 资 料

# 一般会計予算について

## 1 予算のポイント

(1) 令和3年度は、小平市第四次長期総合計画の初年度であり、計画に示す将来像「つながり、共に創るまち こだいら」の実現に向け、住民に最も身近な基礎自治体として、市の担うべき役割を見定めるとともに、職員一人ひとりが市の置かれているこれまでにない危機的な状況を認識し、地域における多様な主体と連携して、求められる行政需要に的確に取り組むための予算として編成しました。

### <歳入>

- 市税は、個人市民税、法人市民税、固定資産税や都市計画税の減などにより、前年度と比べて13億4,300万円、4.4%の減となりました。
- 地方交付税は、引き続き普通交付税の交付団体になると見込み、前年度と比べて1億1,300万円、13.7%の増となりました。
- 財源不足を補うために、基金の活用や、市債の発行などで補てんすることとしました。

### <歳出>

- 扶助費は、障害者自立支援給付費、民間保育園運営費や住居確保給付金の増などにより、前年度と比べて約6億2千万円、2.7%の増となりました。
- 物件費は、学校給食センター調理配送等業務委託などが減となりましたが、地域消費活性化事業（ポイント還元事業）や中学校弁当給食調理等業務委託、新型コロナウイルスワクチン集団接種業務委託の増などにより、前年度と比べて約9億9千万円、9.1%の増となりました。
- 投資的経費は、私立保育園園舎建築補助などが増となりましたが、花小金井南中学校地域開放型体育館新築工事、小川駅西口地区市街地再開発事業などの減により、前年度と比べて約7億5千万円、17.6%の減となりました。

## (2) 行財政改革への取り組み

- 市税の大幅な減少に対応するため、一般財源において、予算見積額に枠（上限）を設けた結果、7.6億円を節減しました。
- 節減した7.6億円のうち、行財政改革の取組効果は約1億2,600万円となりました。
- 歳入確保策としては、道路占用料の見直し等により約1,200万円を確保しました。
- 歳出削減策としては、委託内容の見直しにより約1,470万円、内部努力による管理事務費等の見直しにより約4,830万円、補助金や事務事業の見直しなど施策の見直し等により約5,100万円、それぞれ経費を節減しました。

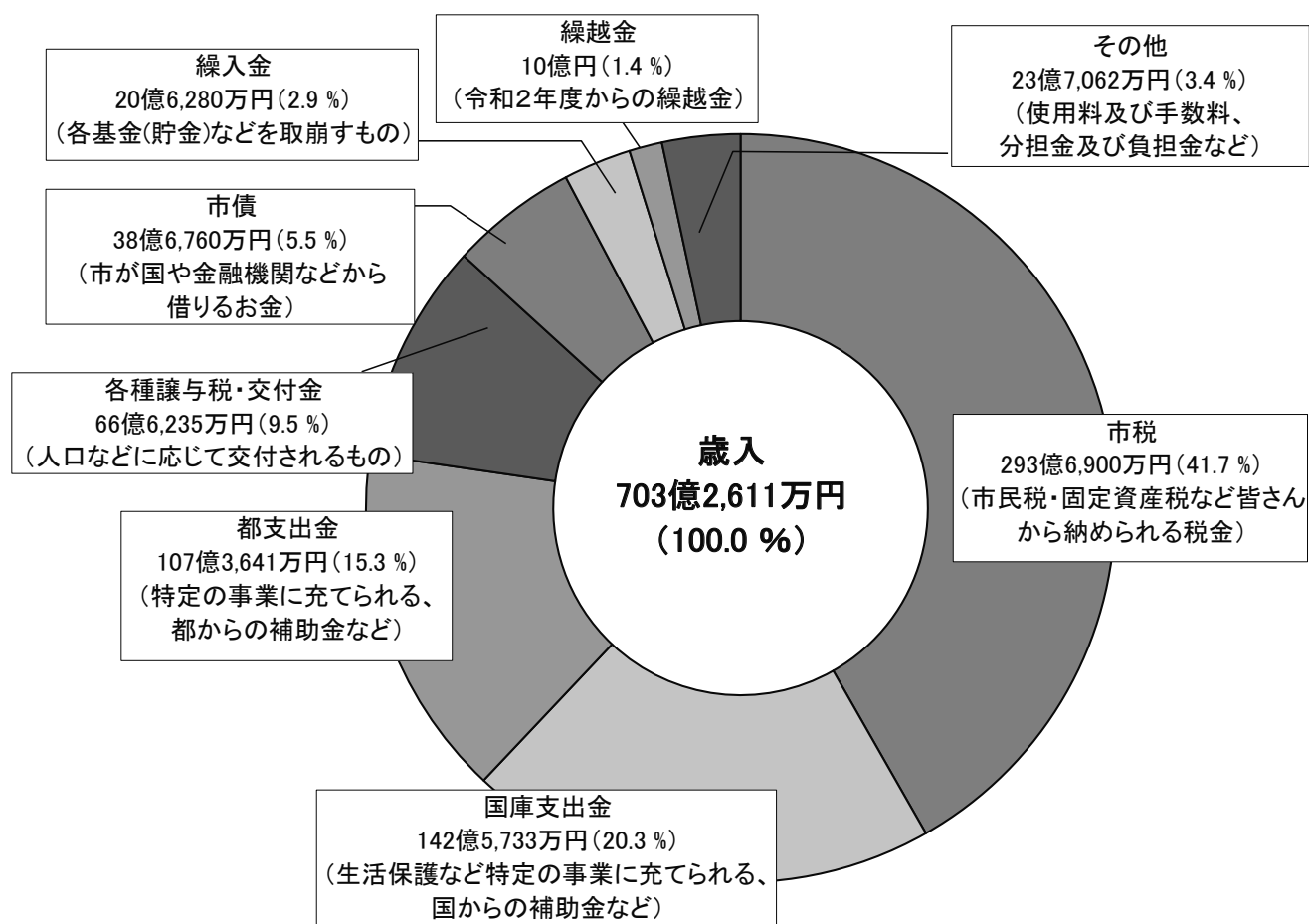
## 2 歳入予算について

### 歳入予算の内訳

(単位：%)

| 区 分       | 令和3年度予算額       | 令和2年度予算額       | 増減額            | 増減率   |
|-----------|----------------|----------------|----------------|-------|
| 市 税       | 293 億 6,900 万円 | 307 億 1,200 万円 | △13 億 4,300 万円 | △4.4  |
| 国 庫 支 出 金 | 142 億 5,733 万円 | 128 億 3,294 万円 | 14 億 2,439 万円  | 11.1  |
| 都 支 出 金   | 107 億 3,641 万円 | 101 億 6,922 万円 | 5 億 6,719 万円   | 5.6   |
| 各種譲与税・交付金 | 66 億 6,235 万円  | 61 億 1,169 万円  | 5 億 5,066 万円   | 9.0   |
| 市 債       | 38 億 6,760 万円  | 33 億 6,960 万円  | 4 億 9,800 万円   | 14.8  |
| 繰 入 金     | 20 億 6,280 万円  | 25 億 6,898 万円  | △5 億 618 万円    | △19.7 |
| 繰 越 金     | 10 億 円         | 10 億 円         | —              | —     |
| そ の 他     | 23 億 7,062 万円  | 23 億 2,157 万円  | 4,905 万円       | 2.1   |
| 合 計       | 703 億 2,611 万円 | 690 億 8,600 万円 | 12 億 4,011 万円  | 1.8   |

※「その他」には、使用料及び手数料、分担金及び負担金、財産収入などを含まます。



- (1) 市税は、前年度比 13 億 4,300 万円減の 293 億 6,900 万円となりました。
- (2) 国庫支出金、並びに、都支出金は、保育園待機児童の解消に向けた緊急対策による増、新型コロナウイルス感染症対応による増などにより、それぞれ 14 億 2,439 万円の増、5 億 6,719 万円の増となりました。
- (3) 各種譲与税・交付金は、地方消費税交付金、配当割交付金、利子割交付金などが減となったものの、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金などの増により、全体で 5 億 5,066 万円の増となりました。
- (4) 各種譲与税・交付金のうち、地方交付税は、市税等の減による影響などを考慮し、1 億 1,300 万円増の 9 億 4,000 万円となりました。
- (5) 市債は、教育債が花小金井南中学校地域開放型体育館新築工事の終了などにより 6 億 5,900 万円の減となったものの、新型コロナウイルス感染症による市税等の減の影響により臨時財政対策債が 10 億 7,900 万円の増となり、全体で 4 億 9,800 万円の増となりました。
- (6) 繰入金金は、財政調整基金繰入金や公共施設整備基金繰入金の減などにより、全体で 5 億 6 1 8 万円の減となりました。

#### ◆市税

- 市税収入は、市民税の大幅な減により、前年度比 13 億 4,300 万円の減となりました。
- 個人市民税及び法人市民税は、新型コロナウイルス感染症による経済状況の悪化の影響などを見込み、それぞれ前年度比 4 億 2,264 万円の減、6 億 5,878 万円の減となりました。
- 固定資産税・都市計画税は、評価替え及び新型コロナウイルス感染症による税制改正の影響などを見込み、前年度比 2 億 5,700 万円の減となりました。

(単位：%)

| 区 分             | 令和3年度          | 令和2年度          | 増減額            | 増減率   | R元決算<br>(比・割時) |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|-------|----------------|
| 市 民 税           | 143 億 8,302 万円 | 154 億 6,444 万円 | △10 億 8,142 万円 | △7.0  | 165 億円         |
| 個 人             | 135 億 7,598 万円 | 139 億 9,862 万円 | △4 億 2,264 万円  | △3.0  | 141 億円         |
| 法 人             | 8 億 704 万円     | 14 億 6,582 万円  | △6 億 5,878 万円  | △44.9 | 24 億円          |
| 固定資産税・<br>都市計画税 | 140 億 8,400 万円 | 143 億 4,100 万円 | △2 億 5,700 万円  | △1.8  | 144 億円         |
| 固定資産税           | 117 億 9,411 万円 | 119 億 8,568 万円 | △1 億 9,157 万円  | △1.6  | 120 億円         |
| 都市計画税           | 22 億 8,989 万円  | 23 億 5,532 万円  | △6,543 万円      | △2.8  | 24 億円          |
| 市たばこ税           | 7 億 4,810 万円   | 7 億 5,563 万円   | △753 万円        | △1.0  | 8 億円           |
| そ の 他           | 1 億 5,388 万円   | 1 億 5,093 万円   | 295 万円         | 2.0   | 1 億円           |
| 合 計             | 293 億 6,900 万円 | 307 億 1,200 万円 | △13 億 4,300 万円 | △4.4  | 318 億円         |

### 3 歳出予算について

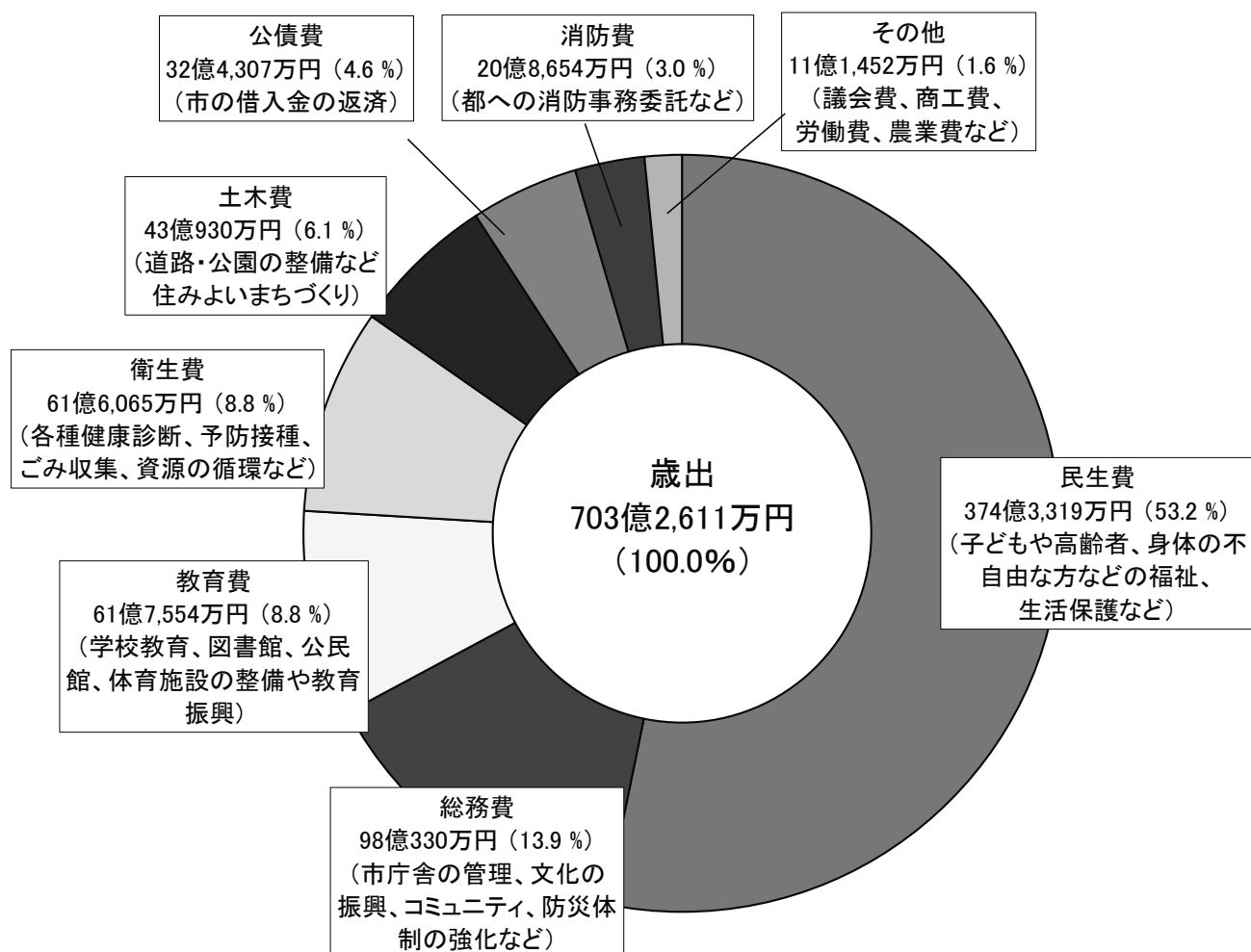
#### (1) 目的別内訳

市の歳出を、民生費、総務費、教育費、衛生費など目的に応じて区分しています。

歳出予算の目的別内訳

(単位：%)

| 区分  | 令和3年度予算額      | 令和2年度予算額      | 増減額           | 増減率    |
|-----|---------------|---------------|---------------|--------|
| 民生費 | 374 億 3,319万円 | 355 億 4,970万円 | 18 億 8,349万円  | 5.3    |
| 総務費 | 98 億 330万円    | 94 億 6,495万円  | 3 億 3,835万円   | 3.6    |
| 教育費 | 61 億 7,554万円  | 72 億 3,732万円  | △10 億 6,178万円 | △ 14.7 |
| 衛生費 | 61 億 6,065万円  | 57 億 4,669万円  | 4 億 1,396万円   | 7.2    |
| 土木費 | 43 億 930万円    | 47 億 4,425万円  | △4 億 3,495万円  | △ 9.2  |
| 公債費 | 32 億 4,307万円  | 33 億 5,198万円  | △1 億 891万円    | △ 3.2  |
| 消防費 | 20 億 8,654万円  | 20 億 5,945万円  | 2,709万円       | 1.3    |
| その他 | 11 億 1,452万円  | 9 億 3,166万円   | 1 億 8,286万円   | 19.6   |
| 合計  | 703 億 2,611万円 | 690 億 8,600万円 | 12 億 4,011万円  | 1.8    |



## 目的別区分の主な事業内容及び予算額

### ①民生費

|                     |             |
|---------------------|-------------|
| 民間保育園等運営経費          | 68億 3,568万円 |
| 生活保護費等経費            | 57億 9,888万円 |
| 障害者自立支援給付費経費        | 52億 3,254万円 |
| 児童手当等経費             | 29億 7,366万円 |
| 学童クラブ経費             | 9億 4,699万円  |
| 認証保育所等補助経費          | 9億 2,524万円  |
| 特別会計（国保・後期高齢・介護）繰出金 | 66億 4,900万円 |

### ②総務費

|                            |             |
|----------------------------|-------------|
| 私立幼稚園教育充実振興経費              | 18億 1,109万円 |
| 基金積立                       | 16億 9,255万円 |
| 市民文化会館運営経費                 | 4億 9,446万円  |
| 窓口業務委託                     | 1億 6,822万円  |
| 庁舎非常用電源設備改修工事              | 1億 413万円    |
| マイナンバーカード交付の推進             | 1億 560万円    |
| 新住民情報システムの再構築              | 1億 118万円    |
| 中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の複合化 | 1億 2,828万円  |
| 防災行政無線（固定系）のデジタル化改修経費      | 9,962万円     |
| 小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備     | 9,891万円     |

### ③教育費

|  |             |
|--|-------------|
| 小学校経費（小学校施設管理、就学援助、保健事業など）                       | 13億 6,164万円 |
| 中学校経費（中学校施設管理、就学援助、保健事業など）                       | 6億 6,270万円  |
| 教育指導費（小・中学校の教育に関する経費、教育ICT管理運営事業、特別支援教育に関する経費など） | 7億 1,770万円  |
| 小学校給食運営経費  | 4億 3,181万円  |
| 中学校給食運営経費（学校給食センター更新事業も含む）                       | 2億 6,453万円  |
| 図書館経費  | 8億 1,807万円  |
| 公民館経費  | 3億 9,424万円  |
| 体育館・体育施設経費                                       | 4億 2,943万円  |

### ④衛生費

|                           |             |
|---------------------------|-------------|
| 塵芥処理経費（ごみ収集、処分費など）        | 27億 3,403万円 |
| 予防接種経費（新型コロナウイルスワクチン経費含む） | 10億 9,724万円 |
| 昭和病院構成市分賦金                | 5億 4,367万円  |
| 資源循環推進経費（資源循環の推進経費など）     | 3億 8,827万円  |

### ⑤土木費

|                          |            |
|--------------------------|------------|
| 道路橋りょう費（道路維持、道路新設改良など）   | 6億 9,621万円 |
| 街路事業費（都市計画道路整備・鉄道立体化の推進） | 4億 7,598万円 |
| 交通安全対策費（交通安全対策、自転車対策など）  | 3億 6,334万円 |
| 公園緑地費（維持管理、緑の保護など）       | 3億 974万円   |
| 耐震化促進経費（沿道建築物の耐震化等の促進など） | 1億 8,968万円 |
| 下水道事業会計繰出金               | 11億 円      |

### ⑥消防費

|                   |             |
|-------------------|-------------|
| 常備消防費（消防事務の都委託など） | 19億 5,941万円 |
| 非常備消防費（消防団関係の運営）  | 9,527万円     |
| 消防施設費（消防施設の維持管理）  | 3,174万円     |

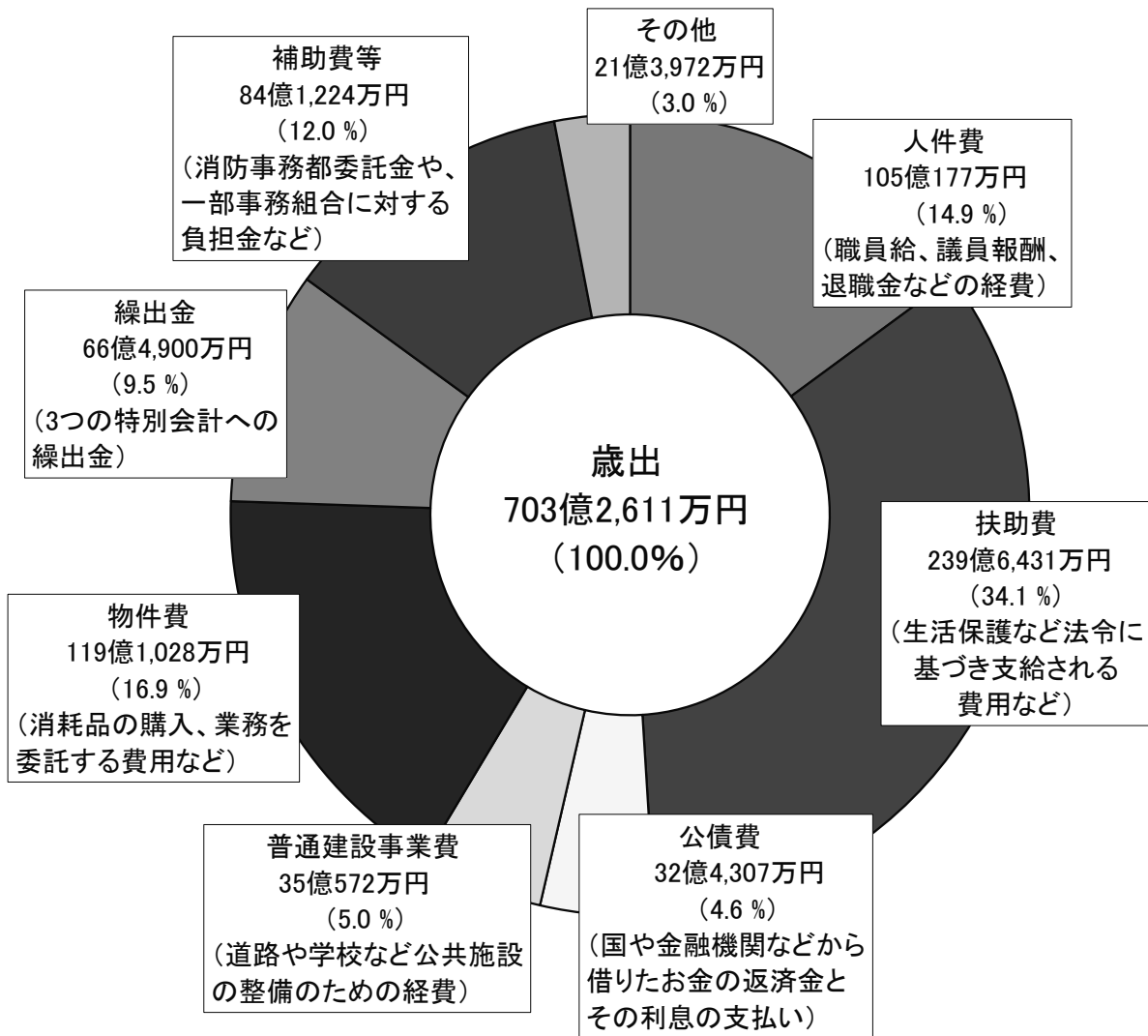
### ⑦その他（議会費、商工費、労働費、農業費など）

|                            |            |
|----------------------------|------------|
| 商工振興費（中小企業等支援、観光まちづくり推進など） | 3億 1,073万円 |
| 農業振興費（都市農業経営力強化、農地の創出など）   | 7,795万円    |
| 議会の運営費                     | 3,853万円    |

(2) 性質別内訳

(単位：%)

| 区 分     | 令和3年度予算額      | 令和2年度予算額      | 増減額          | 増減率    |
|---------|---------------|---------------|--------------|--------|
| 義務的経費   | 377 億 915万円   | 371 億 6,179万円 | 5 億 4,736万円  | 1.5    |
| 人 件 費   | 105 億 177万円   | 104 億 6,560万円 | 3,617万円      | 0.3    |
| 扶 助 費   | 239 億 6,431万円 | 233 億 4,421万円 | 6 億 2,010万円  | 2.7    |
| 公 債 費   | 32 億 4,307万円  | 33 億 5,198万円  | △1 億 891万円   | △ 3.2  |
| 普通建設事業費 | 35 億 572万円    | 42 億 5,366万円  | △7 億 4,794万円 | △ 17.6 |
| その他の経費  | 291 億 1,124万円 | 276 億 7,055万円 | 14 億 4,069万円 | 5.2    |
| 物 件 費   | 119 億 1,028万円 | 109 億 2,055万円 | 9 億 8,973万円  | 9.1    |
| 繰 出 金   | 66 億 4,900万円  | 65 億 5,400万円  | 9,500万円      | 1.4    |
| 補 助 費 等 | 84 億 1,224万円  | 86 億 9,396万円  | △2 億 8,172万円 | △ 3.2  |
| そ の 他   | 21 億 3,972万円  | 15 億 204万円    | 6 億 3,768万円  | 42.5   |
| 合 計     | 703 億 2,611万円 | 690 億 8,600万円 | 12 億 4,011万円 | 1.8    |



市の歳出を、人件費、扶助費、物件費など性質に応じて区分しています。性質別に分類することにより、例えば義務的経費（人件費・扶助費・公債費）が多いほど他の経費に使えるお金が少なくなるなど、市の財政状況を知ることができます。

- ① 人件費は、会計年度任用職員報酬・社保等の増などにより、0.3%の増となりました。
- ② 扶助費は、障害者自立支援給付費、民間保育園運営費等の増などにより、約6.2億円、2.7%の増となりました。
- ③ 公債費は、償還元金及び償還利子の減により、3.2%の減となりました。
- ④ 普通建設事業費は、花小金井南中学校地域開放型体育館の建設、小川駅西口地区市街地再開発事業等の減により、約7.5億円、17.6%の減となりました。
- ⑤ 物件費は、地域消費活性化事業（ポイント還元事業）、新型コロナウイルスワクチン接種業務委託の増などにより、9.1%の増となりました。
- ⑥ 繰出金は、介護保険事業特別会計の増などにより1.4%の増となりました。
- ⑦ 補助費等は、市税還付金の減などにより、3.2%の減となりました。

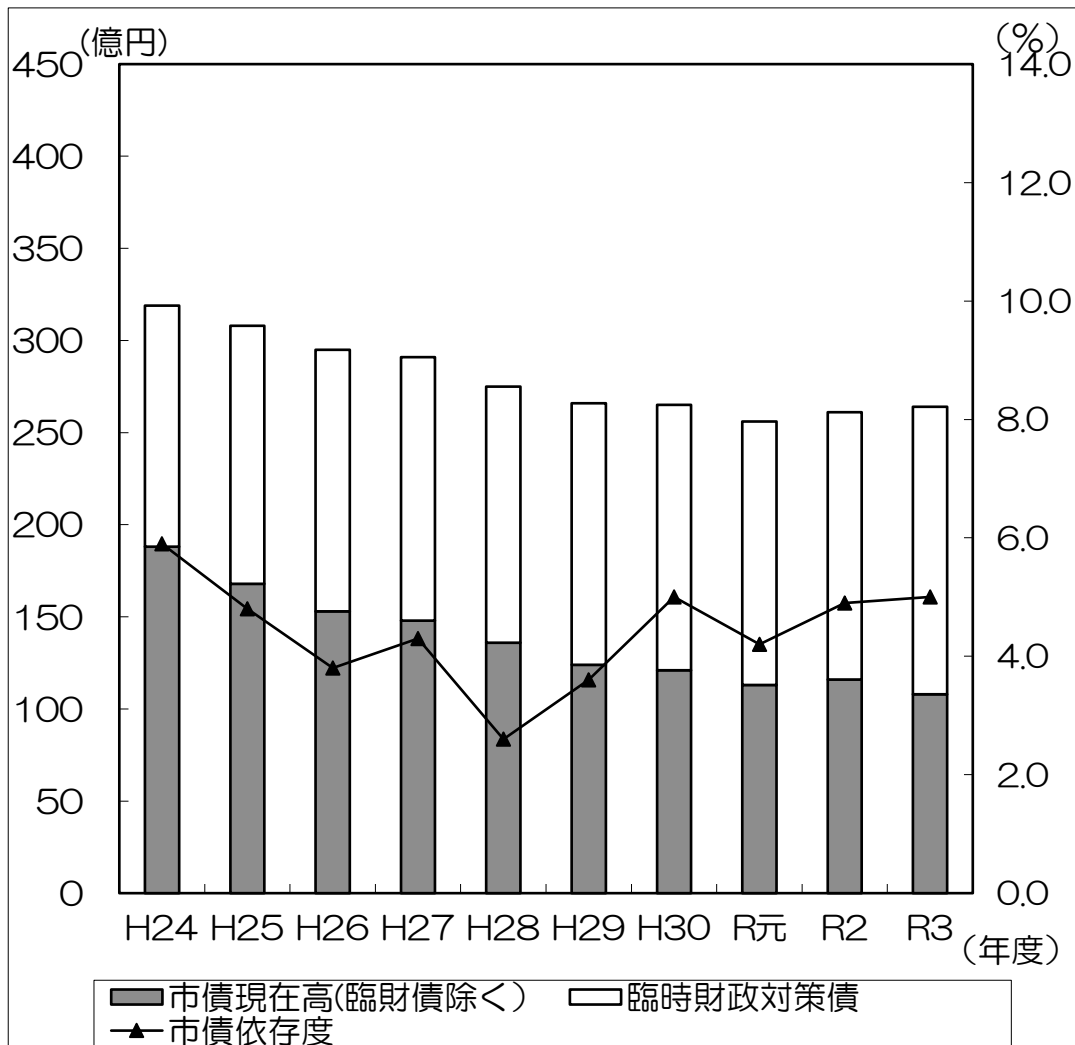


## 4 小平市の財政状況

### (1) 市債の推移

#### ① 一般会計

- 市債現在高は、平成16年度末をピークに減少してきましたが、令和3年度は償還見込額よりも借入見込額が大きいため、令和2年度末市債現在高見込額よりも7億円増加します。
- 市債依存度（歳入に占める市債の割合）は、令和2年度よりも0.1ポイント増加します。



(単位: 億円・%)

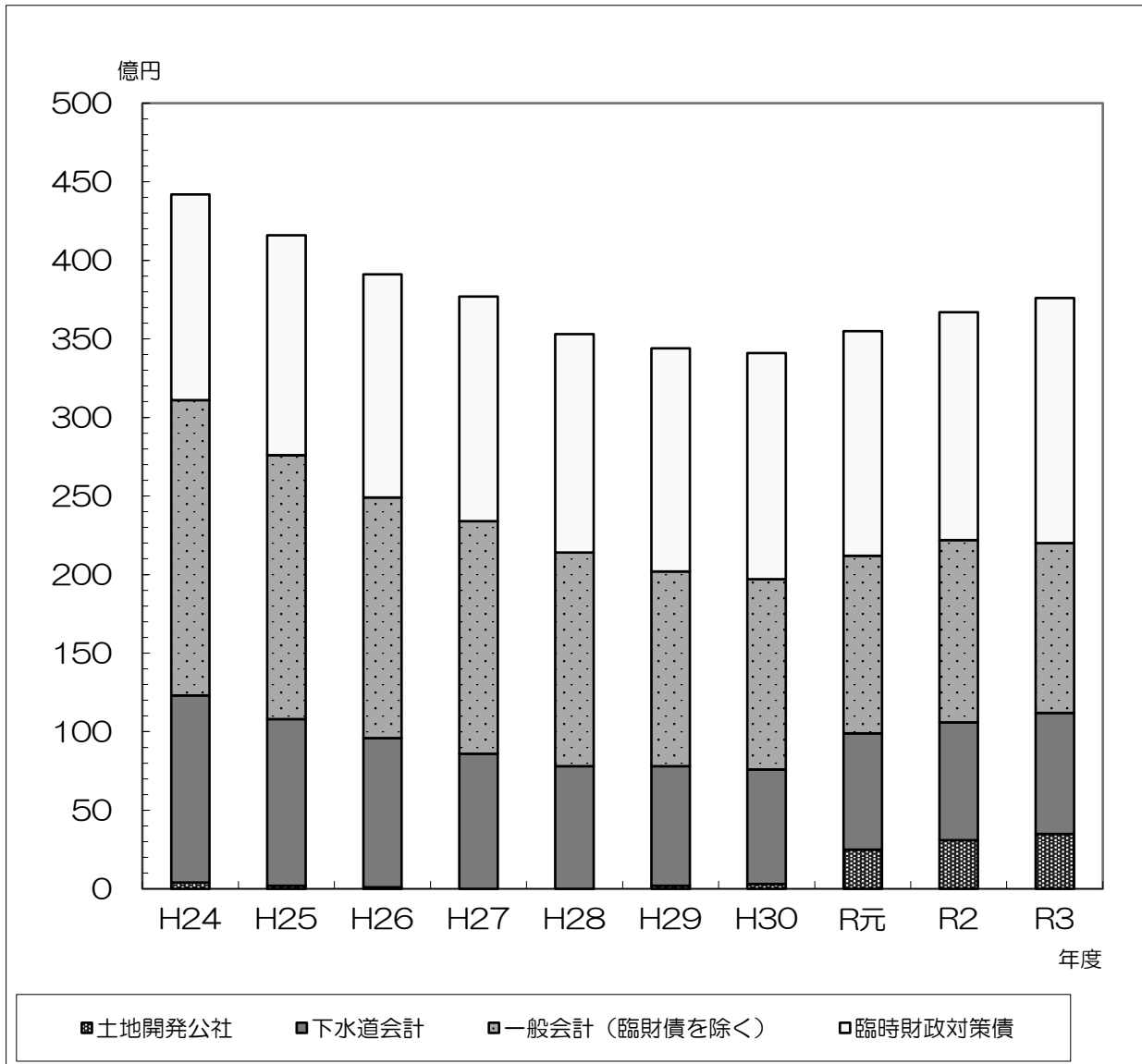
| 年 度       | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R元  | R2  | R3  |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 市債依存度     | 5.9 | 4.8 | 3.8 | 4.3 | 2.6 | 3.6 | 5.0 | 4.2 | 4.9 | 5.0 |
| 市債現在高     | 319 | 308 | 295 | 291 | 275 | 265 | 264 | 256 | 261 | 268 |
| うち臨時財政対策債 | 131 | 140 | 142 | 143 | 139 | 142 | 144 | 143 | 145 | 156 |

※平成24年度から令和元年度は年度末現在高、令和2年度・令和3年度は年度末現在高見込額

(参考) 令和3年度起債依存度 国:40.9%、東京都:7.9%、地方財政対策:12.5%

② 市全体の債務の推移

○ 市全体の債務は、各会計及び土地開発公社の債務の減少により、平成8年度のピークから平成30年度までは減少してきましたが、令和元年度からの土地開発公社の債務の増加などにより、令和3年度末の市全体の債務は、令和2年度より13億円増加します。



(単位：億円・%)

| 年 度       | H24 | H25   | H26   | H27   | H28   | H29   | H30   | R元    | R2  | R3  |     |
|-----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|
| 一般会計      | 319 | 308   | 295   | 291   | 275   | 265   | 264   | 256   | 261 | 268 |     |
| うち臨時財政対策債 | 131 | 140   | 142   | 143   | 139   | 142   | 144   | 143   | 145 | 156 |     |
| 下水道会計     | 119 | 106   | 95    | 86    | 78    | 76    | 73    | 74    | 75  | 77  |     |
| 土地開発公社    | 4   | 2     | 1     | 0     | 0     | 2     | 3     | 25    | 31  | 35  |     |
| 債務残高合計    | 442 | 416   | 391   | 377   | 353   | 343   | 340   | 355   | 367 | 380 |     |
| 対前年度増減率   |     | △ 4.1 | △ 5.9 | △ 6.0 | △ 3.6 | △ 6.4 | △ 2.8 | △ 0.9 | 4.4 | 3.4 | 3.5 |

※平成24年度から令和元年度は年度末現在高、令和2年度・令和3年度は年度末現在高見込額

## (2) 基金の推移

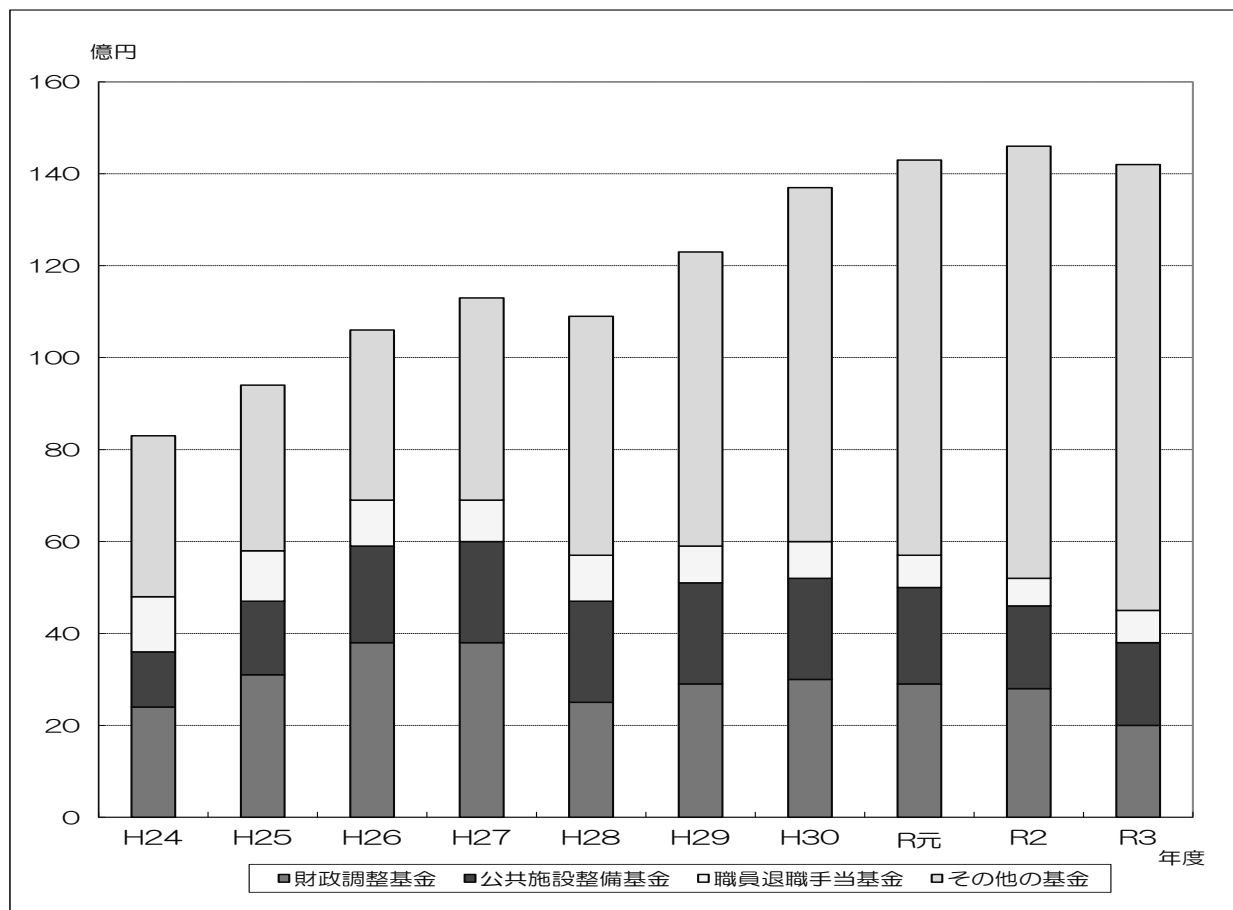
市では毎年度、基金（市の貯金）を積み立てています。

基金には、経済事情の変動等による財源不足の補てんのための「財政調整基金」、公共施設の整備資金に充てるための「公共施設整備基金」、市職員の退職手当に充てるための「職員退職手当基金」など18の基金があります。

これらの基金残高は、総額について、平成25年度以降増加傾向にありましたが、令和3年度は、財源不足に対応するため減少の見込みとなっています。

安定的、計画的な財政運営を図るため、基金残高の目標を財政調整基金は35億円、公共施設整備基金は25億円としており、令和3年度においては目標達成が難しい状況にあります。今後想定される公共施設の老朽化に伴う更新等に備えて、積み立てを行っていく必要があります。

なお、令和3年度の市民一人当たりの基金（貯金）の金額は、約7万3千円となります。



(単位：億円・%)

| 年 度             | H24 | H25  | H26  | H27 | H28   | H29  | H30  | R元  | R2  | R3    |
|-----------------|-----|------|------|-----|-------|------|------|-----|-----|-------|
| 財 政 調 整 基 金     | 24  | 31   | 38   | 38  | 25    | 29   | 30   | 29  | 28  | 20    |
| 公 共 施 設 整 備 基 金 | 12  | 16   | 21   | 22  | 22    | 22   | 22   | 21  | 18  | 18    |
| 職 員 退 職 手 当 基 金 | 12  | 11   | 10   | 9   | 10    | 8    | 8    | 7   | 6   | 7     |
| そ の 他 の 基 金     | 35  | 36   | 37   | 44  | 52    | 64   | 77   | 86  | 94  | 97    |
| 基 金 残 高 合 計     | 83  | 94   | 106  | 113 | 109   | 123  | 137  | 143 | 146 | 142   |
| 対 前 年 度 増 減 率   | 0.0 | 13.3 | 12.8 | 6.6 | △ 3.5 | 12.8 | 11.4 | 4.4 | 2.1 | △ 2.7 |

※平成24年度から令和元年度は年度末残高額、令和2年度・令和3年度は年度末残高見込額

### (3) 財政指標

財政指標とは、市の財政運営が健全かどうかを表す指数です。

主な財政指標として、経常収支比率・財政力指数・実質公債費比率などがあります。

経常収支比率とは、人件費・扶助費・公債費などの経常経費に、地方税・地方交付税・地方譲与税などの経常一般財源や臨時財政対策債などが、どれくらい充てられているかを見る指標です。この比率から財政構造の弾力性を判断することができ、数値が低いほど財政構造に弾力性があることとなります。市における目安として、70～80%を超えると普通建設事業などの臨時的な経費に充てられる財源が少なくなり、財政構造の弾力性が失われつつあるとされています。小平市では平成12年度以降90%を超える状態が続いており、財政構造の硬直化が進んでいるといえます。今後についても、扶助費や補助費等の経常経費の増が見込まれるため、大きく好転するのは難しい状況です。

財政力指数とは、地方公共団体の財政力の強弱を表す数値で、「基準財政収入額／基準財政需要額」により算定されます。その数値が大きいほど財政力が強いとみることができ、単年度で1を超える団体は普通交付税の不交付団体となります。小平市は平成22年度に財政力指数が1を下回って以降、普通交付税の交付団体となっています。令和3年度についても、扶助費の増などにより、財政力指数は1を下回ることが予想され、引き続き交付団体となる見込みです。

実質公債費比率とは、地方公共団体の財政規模に対する公債費の割合を表す指標で、公債費には一般会計だけでなく、一般会計が負担する下水道事業会計や一部事務組合などの実質的な公債費も含んでいます。平成19年度決算から導入された健全化判断比率の1つで、25%を超えると健全化団体等へ移行しますが、小平市は基準を大きく下回っています。

(単位：%)

| 年 度     | H25   | H26   | H27   | H28   | H29   | H30   | R元    | R2    | R3    |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 経常収支比率  | 91.4  | 93.9  | 91.8  | 94.9  | 93.0  | 92.7  | 93.7  | 98.6  | 97.3  |
|         | 96.3  | 96.8  | 94.2  | 96.8  | 96.6  | 96.5  | 96.7  | 102.1 | 104.0 |
| 財政力指数   | 0.938 | 0.952 | 0.966 | 0.976 | 0.977 | 0.976 | 0.973 | 0.968 | 0.967 |
|         | 0.951 | 0.971 | 0.976 | 0.982 | 0.973 | 0.973 | 0.972 | 0.960 | 0.968 |
| 実質公債費比率 | 2.9   | 2.1   | 1.1   | 0.6   | 0.7   | 1.2   | 1.7   | 2.0   | 2.3   |

※令和元年度以前は決算数値、令和2年度は決算見込み数値（ただし、経常収支比率は当初予算の数値）

令和3年度は当初予算に第4号補正の数値を加えた数値

※経常収支比率は、上段：経常一般財源に減税補てん債及び臨時財政対策債を含めて算出した数値

下段：経常一般財源から減税補てん債及び臨時財政対策債を除いて算出した数値

※財政力指数は、上段：当該年度を含む過去3年間の平均値

下段：単年度

※実質公債費比率は、当該年度を含む過去3年間の平均値

#### (4) 小平市の家計簿

小平市の一般会計予算（令和3年度）を家庭にたとえて家計簿を作りました。

小平家の1年間の収入と支出 総額703.3万円

- ・貯金残高 146万円
- ・ローン残高 261万円

| 1年間の収入                    |                | 1年間の支出         |                |
|---------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 市税（給料）                    | 293.7万円        | 人件費（生活費）       | 105.0万円        |
| 各種譲与税、交付金（賞与）             | 57.2万円         | 扶助費（学費、年金、医療費） | 239.7万円        |
| 分担金・負担金、使用料及び手数料（アルバイト収入） | 17.3万円         | 公債費（ローン返済金）    | 32.4万円         |
| 地方交付税・国・都支出金（実家からの仕送り）    | 259.3万円        | 物件費（被服費、消耗品）   | 119.1万円        |
| 財産収入（古物売払い）               | 1.7万円          | 維持補修費（家の修繕費）   | 3.5万円          |
| 繰越金（財布の中身）                | 10.0万円         | 補助費等（自治会費）     | 84.1万円         |
| 諸収入（株式配当）                 | 4.8万円          | 積立金（貯金）        | 16.9万円         |
| <b>稼ぎの計</b>               | <b>644.0万円</b> | 繰出金（仕送り）       | 66.5万円         |
| 繰入金（貯蓄取崩し）                | 20.6万円         | 普通建設事業（家具購入）   | 35.1万円         |
| 市債（ローン）                   | 38.7万円         | 予備費（へそくり）      | 1.0万円          |
| <b>収入計</b>                | <b>703.3万円</b> | <b>支出計</b>     | <b>703.3万円</b> |

小平家は、給料や実家（国・都）からの仕送りなどにより1年間では644万円の稼ぎがあります。この中には、一定水準の家計のやりくりができないときに実家（国）から仕送りがされるお金（地方交付税）が9万円含まれています。これに対して1年間に使うお金は703万円ですので、稼いだお金だけでは足りません。そこで、貯金の取崩しと銀行からの借入金で不足分の59万円を賄って生活をしています。稼いだお金だけでは生活ができないというのは、とても不安定な状況であるといえます。

小平家では、すでに銀行で261万円のローンを組んでいます。今後、利子を加えて返済することになります。

また、備えや事業資金としての貯金が146万円ありますが、この貯金には使用目的が決められているものが多く、いつでもおろせる預金としては28万円しかありません。

景気の悪化等により、給料が大幅に減っているにもかかわらず、医療費や消耗品費の出費が昨年より増えています。そのため、実家からの仕送りの増や新たなローンを組むことにより、どうにか必要なお金を確保しました。

今後も医療費の増は続く見込みであり、毎年、必要な消耗品や家具などの購入もあるため、支出を簡単に減らすことはできません。また、昨年よりローンの返済は若干減ってはいますが、新たに組んだローンの返済も含め、ローンの返済は今後も続けなければならない、苦しい状況は続いていくものと思われます。

小平家ではここ数年、新たな借金を増やさないように努力してきたため、借金の残高は減ってきていましたが、昨年は残高が増えています。貯金においては、昨年の残高は若干増えてはいますが、今年も不足分の一部を貯金の取崩しで賄っているため、貯金の残高を大きく増やすことは難しい状況です。

今後さらに医療費が増え、古くなってきた家の改修などにもお金がかかってくるのが予想されますが、給料が大幅に増えることは期待できません。

そのため給料以外の収入を得る方法を考え、節約に努めなければなりません。また、従来から支出してきたものも必要性を根本的に見直すとともに、新たに買うものも本当に必要か見極めて買うようにしていかなければなりません。



# 特別会計・下水道事業会計予算について

市が特定の事業を行う場合に、一般の歳入歳出と区分して収支会計を行う会計があります。小平市には、3つの特別会計と下水道事業会計があります。

## 1 国民健康保険事業特別会計

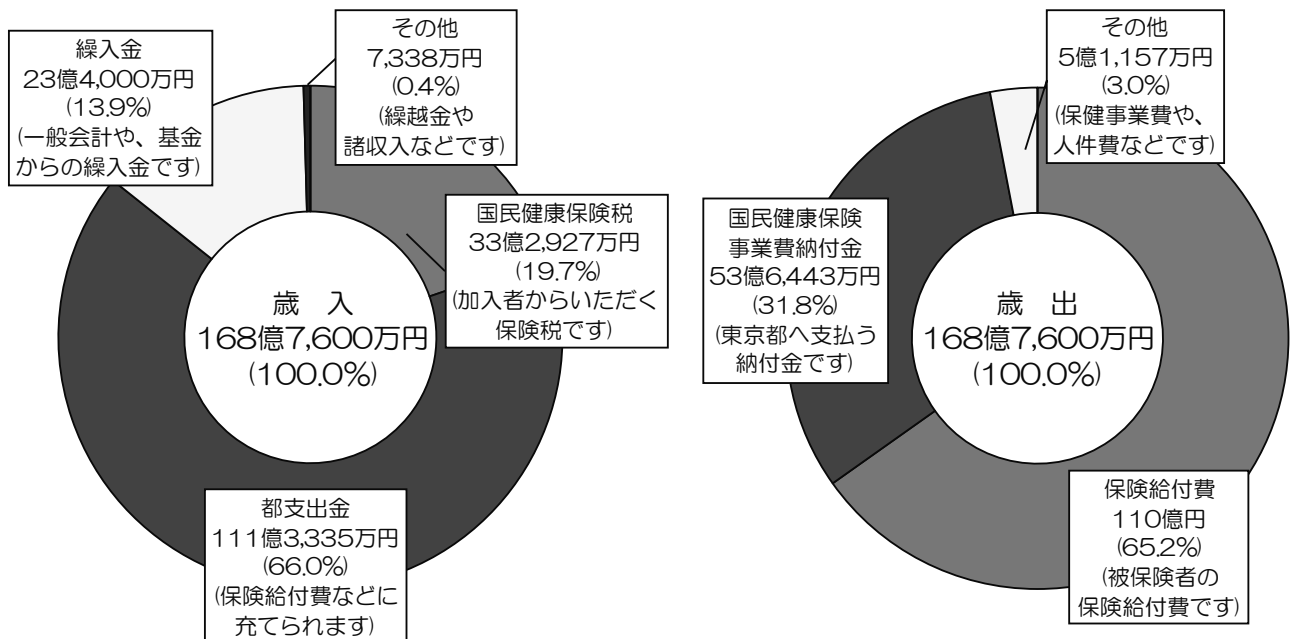
予算額は、前年度に比べ、1億2,000万円（0.7%）の減となりました。

歳入では、国民健康保険税は、被保険者数の減や所得の状況から、前年度と比べ4.8%の減となりました。また、財源不足を補うため、一般会計繰入金を4,000万円（1.8%）減の21億9,000万円とし、国民健康保険事業運営基金から1億5,000万円の繰り入れを行うことで、収支の均衡を図ります。

歳出では、東京都に納める国民健康保険事業費納付金が、前年度と比較し6,080万円（1.1%）の減となりました。また、歳出の約6割以上を占める保険給付費は、医療費の動向を踏まえ、前年度と比べ、1億円（0.9%）の減となりました。

保健事業では、健診率向上のため集団健診を実施するほか、第二期小平市データヘルス計画に基づく効果的・効率的な保健事業の実施により、医療費適正化及び人間ドック・脳ドック利用費補助を実施します。

なお、平均被保険者数は前年度に比べ300人（0.8%）の減、平均世帯数は10世帯（0.0%）の減を見込んでおります。



## 2 後期高齢者医療特別会計

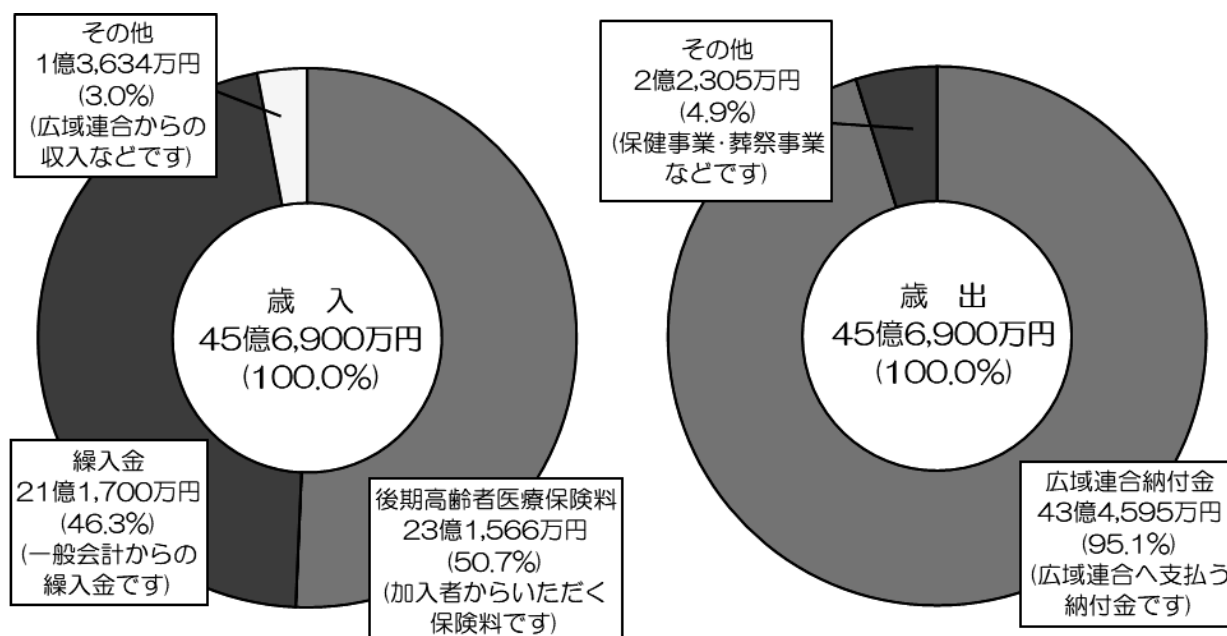
予算額は、前年度に比べ9,900万円（2.2%）の増となりました。

歳入は、保険料と繰入金が主なもので、歳出は、東京都後期高齢者医療広域連合へ納付する負担金が主なものとなります。

前年度に比べて被保険者が増えることなどから、広域連合への療養給付や保険料等の負担金が増となります。

その他、市の独自事業として国民健康保険と同様に、人間ドック・脳ドック利用費補助を実施します。

また、広域連合の委託を受けて健康診査、葬祭費支給事業を実施します。





### 3 介護保険事業特別会計

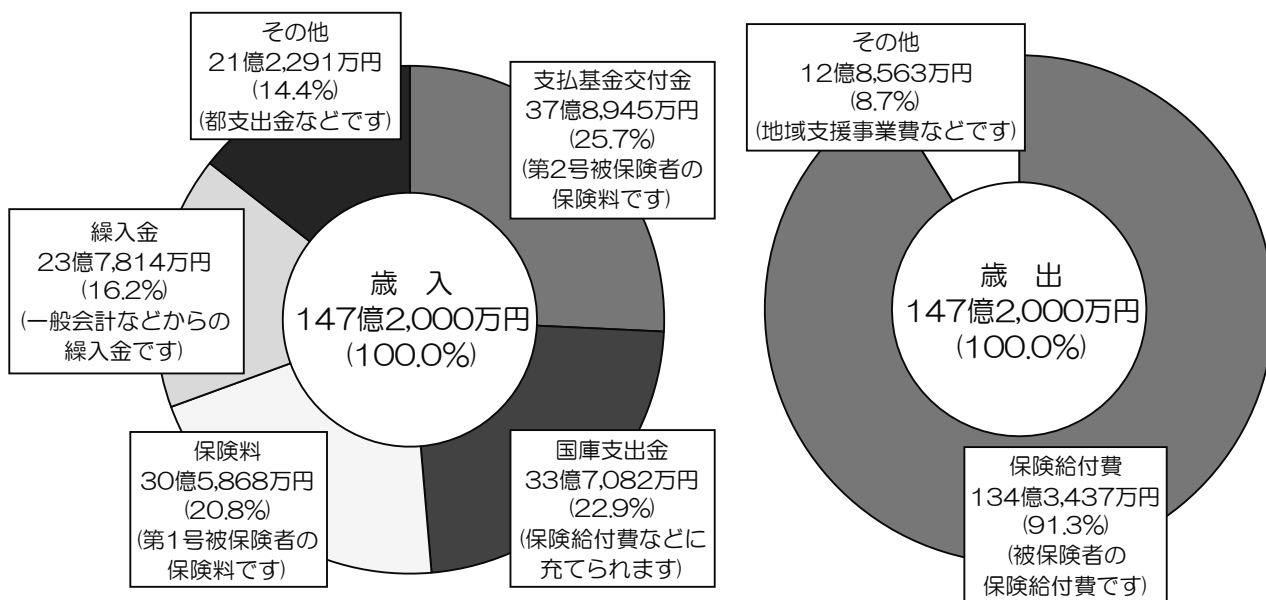
予算額は、前年度に比べ、5億5,500万円（3.9%）の増となりました。

歳出の91%ほどを占める保険給付費は、要支援・要介護認定者数の増加が見込まれるため、4.3%の増となっています。

令和3年度は、小平市地域包括ケア推進計画（令和3年度から令和5年度まで）の初年度として、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに伴う高齢者の多様な課題に対応するために、高齢者の地域での生活を支える地域包括ケアシステムの構築を推進していきます。

地域支援事業では、主に、介護予防・日常生活支援総合事業や、地域包括支援センターの運営事業、在宅医療・介護連携推進事業、認知症総合支援事業、生活支援体制整備事業などの各種事業を展開していきます。

なお、令和2年12月末時点の第1号被保険者数は、45,572人で、前年同期（45,078人）に比べ、1.1%の増、要介護・要支援の認定者数は、9,422人で、前年同期（9,388人）に比べ、0.4%の増となっております。

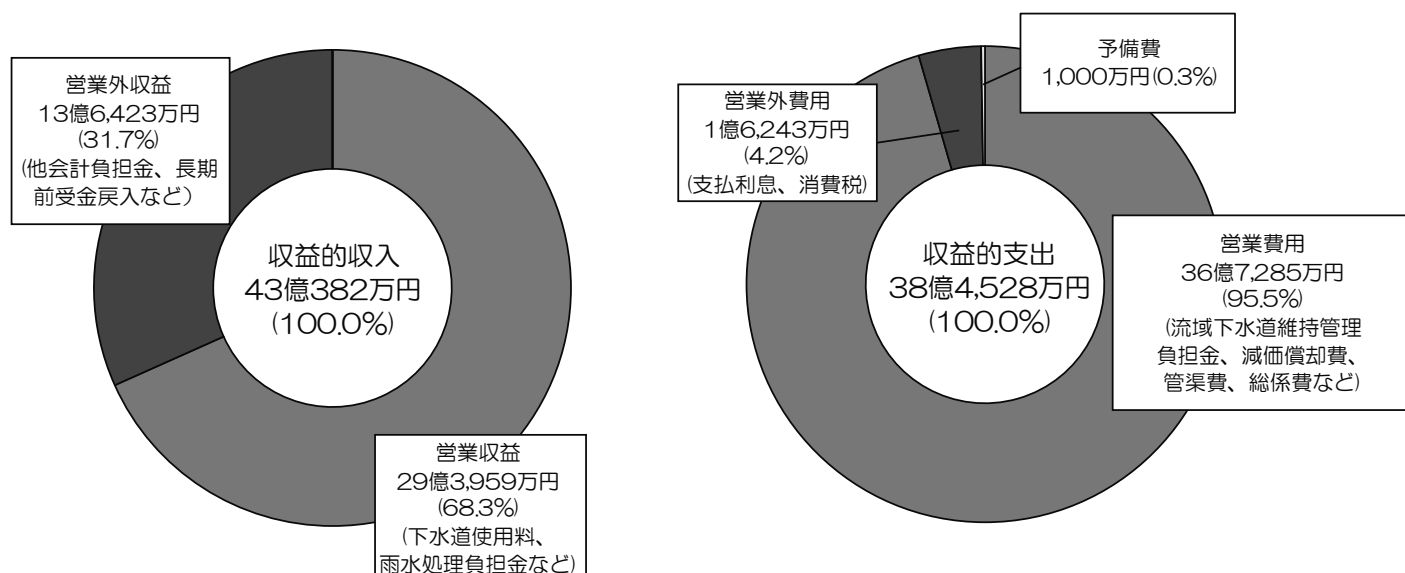


#### 4 下水道事業会計

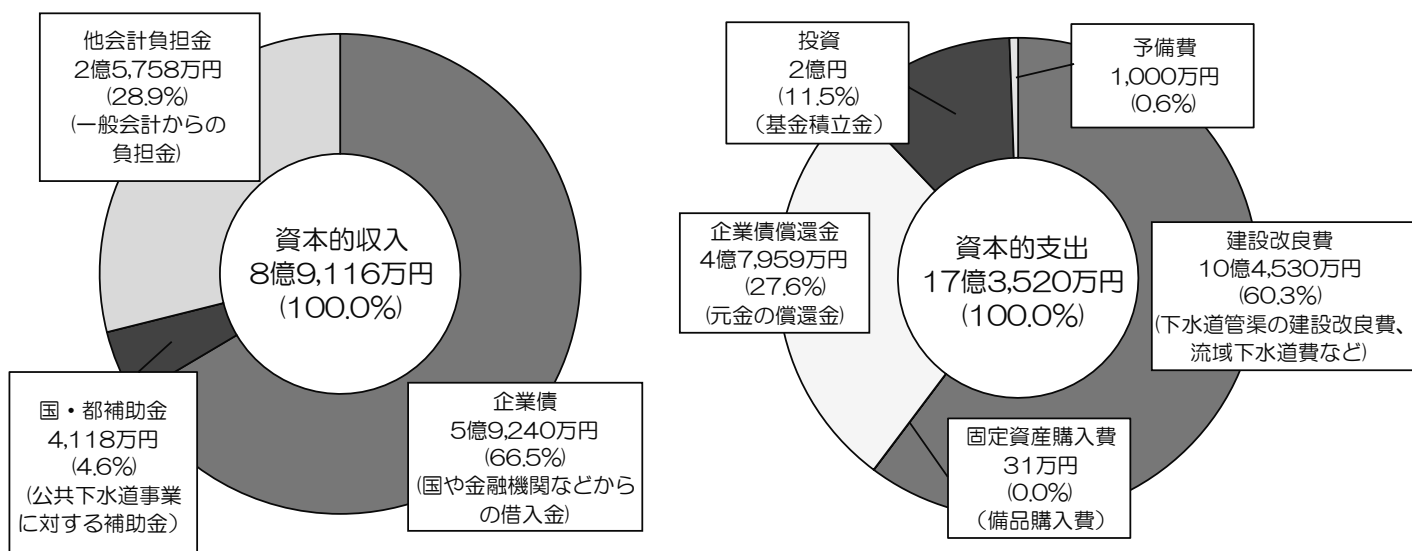
予算額は、収益的収入が前年度に比べ4,734万円の減、収益的支出が1億26万円の減、資本的収入が2億628万円の減、資本的支出が6,211万円の減となりました。資本的収入及び支出の減は、主に、施設の老朽化対策や雨水整備費の減により、収入では企業債が、支出では建設改良費が減となったことによるものです。

令和3年度は、小平市第二次下水道プラン（計画期間：令和3年度から令和12年度）の初年度として、重点施策となる、「浸水対策」、「施設の老朽化対策」などを引き続き実施します。「浸水対策」では、大沼町1丁目地区など合計5か所で、雨水管きよ築造工事を行います。「施設の老朽化対策」では、仲町処理分区の管路調査及び鈴木・学園・喜平処理分区の更新工事等を行います。

#### 収益的収入支出



#### 資本的収入支出



## 市役所の組織と連絡先

| 部 局 名        | 電 話 番 号        | 部 局 名      | 電 話 番 号        |
|--------------|----------------|------------|----------------|
| 課 名          |                | 課 名        |                |
| 企画政策部        |                | 環境部        |                |
| 政策課          | 042 (346) 9503 | 環境政策課      | 042 (346) 9536 |
| 財政課          | 042 (346) 9504 | 資源循環課      | 042 (346) 9535 |
| 秘書広報課        | 042 (346) 9505 | 水と緑と公園課    | 042 (346) 9556 |
| 情報政策課        | 042 (346) 9509 | 下水道課       | 042 (346) 9559 |
| 行政経営課        | 042 (346) 9756 | 都市開発部      |                |
| 公共施設マネジメント課  | 042 (346) 9557 | 都市計画課      | 042 (346) 9554 |
| 総務部          |                | 建築指導課      | 042 (346) 9851 |
| 総務課          | 042 (346) 9511 | 公共交通課      | 042 (346) 9814 |
| 契約検査課        | 042 (346) 9517 | 地域整備支援課    | 042 (346) 9592 |
| 職員課          | 042 (346) 9514 | 道路課        | 042 (346) 9548 |
| 防災危機管理課      | 042 (346) 9519 | 交通対策課      | 042 (346) 9549 |
| 地域安全課        | 042 (346) 9614 | 施設整備課      | 042 (346) 9553 |
| 市民部          |                | 会計管理者      |                |
| 市民課          | 042 (346) 9520 | 会計課        | 042 (346) 9563 |
| 税務課          | 042 (346) 9521 | 教育部        |                |
| 収納課          | 042 (346) 9526 | 教育総務課      | 042 (346) 9568 |
| 地域振興部        |                | 学務課        | 042 (346) 9570 |
| 市民協働・男女参画推進課 | 042 (346) 9809 | 指導課        | 042 (346) 9572 |
| 産業振興課        | 042 (346) 9533 | 地域学習支援課    | 042 (346) 9574 |
| 文化スポーツ課      | 042 (346) 9833 | 公民館        | 042 (341) 0861 |
| 子ども家庭部       |                | 図書館        | 042 (345) 1246 |
| 子育て支援課       | 042 (346) 9821 | 議会事務局      | 042 (346) 9566 |
| 保育課          | 042 (346) 9594 | 選挙管理委員会事務局 | 042 (346) 9576 |
| 健康福祉部        |                | 監査事務局      | 042 (346) 9577 |
| 生活支援課        | 042 (346) 9537 |            |                |
| 高齢者支援課       | 042 (346) 9823 |            |                |
| 障がい者支援課      | 042 (346) 9540 |            |                |
| 健康推進課        | 042 (346) 3700 |            |                |
| 保険年金課        | 042 (346) 9529 |            |                |

「小平市わかりやすい予算」

令和3年度主要事業・予算概要説明書

令和3年6月発行

編集・発行 小平市企画政策部財政課

〒187-8701

東京都小平市小川町二丁目1333番地

電話（042）346-9504

電子メール [zaisei@city.kodaira.lg.jp](mailto:zaisei@city.kodaira.lg.jp)

¥180

## 鈴木遺跡

鈴木遺跡は、昭和49年に、現在の鈴木小学校用地で確認されました。

礫群など数多くの遺物・遺構が見つかり、約3万8千年前から1万6千年前の後期旧石器時代の人々の暮らしを知ることのできる、わが国を代表する遺跡として広く内外に知られています。令和3年3月に国史跡指定を受けました。



昭和49年ごろの発掘調査風景